



37

きゅうろくごうようすい

## 旧六郷用水の

ぶんか いさん ほぞん じぎょう  
文化遺産保存事業

東京都大田区田園調布本町

大田区は、東京都の東南端に位置し、地形は台地部と低地部に分かれ、台地部は田園調布などの緑の多い住宅地であり、低地部は商工業地域を形成している。また、縄文・弥生時代から古墳時代にかけての遺跡・遺物も発見されている。〔文化・観光〕池上本門寺、田園調布・多摩川台公園、大森貝塚、洗足池、池上梅園、平和の森公園、野鳥の森公園



六郷用水は多摩川から取水し、城南地帯をうるおす農業用水路として、徳川家康の江戸入府ののち小泉次太夫によって開削されたものである。

しかし都市化がすすむ中で、用水路から排水路へと機能転換し、さらに下水道の整備がすすんだ本地域では、埋め立てられ用水が流れていたという軌跡は消えつつあった。

大田区では、現在なお残り少ないその面影を残す当区間を保存することとし、わずかに残る湧き水を最大限に利用して、地域の住民にやすらぎと憩いを与える場として用水路をよみがえらせた。

工事完成後は、歩道部分を地元住民が自主的に清掃を行うなど、愛着と親しみをもって管理されている。